

令和4年3月31日

足立区立江南中学校  
校長 水谷 正博 様

足立区立江南中学校 開かれた学校づくり協議会  
会長 竹之内 茂樹

## 令和3年度 学校関係者評価書

### 1 自己評価書全般について

江南中学校は「学ぶ 鍛える 思いやる」を教育指針に掲げ、小規模校ならではのきめ細かい教育活動が行われている。

本年度も新型コロナウイルスの影響はあったが、感染症対策に留意しつつ、できる限り生徒が充実した学校生活を送れるように取り組んでおり、その学校の努力を高く評価する。

学校行事では、「運動会」は保護者の参観は叶わなかったものの、小規模校の利点で全校での開催ができた。「学習発表会」は学年別の開催とはなったが、運動会同様、行事を唯一知る三年生が手本を見せることで、伝統が途絶えずに引き継がれたことを嬉しく思う。

他にも昨年度中止となった「魚沼自然教室」や「校外学習」を実施、キャリア教育の一環として「働く人の話を聞く会」や「職業調べ」を実施するなど、できる時にできることをできる形で実施した点を評価する。

学習面では、全生徒へのタブレット配付が完了し、ICTを活用した学習環境が整った。それを受けて、感染拡大の対策として、登校とリモート学習を家庭の判断で選択できるようにしたことは評価する。ただ、リモート学習の内容としては、まだ完全な双方向とはなっておらず、学習の質として対面での授業の代わりにはならない。登校とリモート学習の選択により学力に格差が生じないようにフォローをお願いしたい。生徒のアンケートでも、「わからないことをそのままにしないでわかるまで努力する」が20%、「学校での授業はわかる」が10%と、それぞれ昨年度に比べ肯定的回答が低下している。引き続き放課後補充教室等で基礎学力の定着に努めてほしい。

生活面では、生徒たちも生活の規範としての「あ・じ・み・こ・し」を意識して、落ち着いた学校生活を送っている。この取り組みは保護者や地域にも評価されている。

地域への取り組みとして、生徒会が中心となり地域清掃や花壇の花の植え替えを行うなど、景観美化に貢献している。

### 2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

アンケートの結果から、保護者は学校に対し、学校の取り組みや教職員の質については昨年度と変化はなく、一定の評価をしている。しかし、保護者が学校に足を運ぶ機会の減少のためか「教職員に相談しやすい」が20%近く低下、また、短縮授業の影響か学力定着に不安を抱く保護者も増えているようだ。保護者の不安を払拭できるよう努めてほしい。

### 3 その他

学校図書館の利用促進に触れられているが、一部の生徒の利用に限られているのではないか。図書館が目立たず薄暗いので、教室のように廊下から室内の様子が見えれば、今よりも利用されやすくなるのではないか。